

No.582

2023.3.20

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th





第38回金属団地ボウリング大会開催

1月29日(日)、ACグラウンドにて第38回金属団地ボウリング大会が行われました。

3年振りの開催となりましたが11チーム44名の参加を得ることができ、皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。



定刻の9時半となり、山村労務委員長挨拶のあとゲーム開始。外国人の参加者も多く、ストライクやスペアをとって大いに盛り上がっている姿は微笑ましくも感じました。

プレイ後は表彰式に移り、個人戦の飛び賞、上位入賞者、団体上位チームが発表され労務委員長より一人ひとりに賞品が贈られあたたかな拍手とともに閉会いたしました。

各結果は以下のとおりです。参加された皆様お疲れ様でした。

このボウリング大会は金属団地の組合員企業に雇用されている方やその家族であればどなたでも参加できます。日頃の運動不足解消や親睦のきっかけに是非ご活用ください。

☆個人戦

優勝	藤澤 利光 (ホラタ、工業)	559 点
準優勝	森田 吉久 (金属団地役員)	506 点
3 位	加藤 清隆 (ホラタ、工業)	486 点
4 位	牧野 恵次 (ホラタ、工業)	482 点
5 位	山内 寛明 (金属団地青年部)	462 点
6 位	岩井 康志 (三星工業)	453 点
7 位	小川 美保 (ホラタ、工業)	449 点
8 位	前田 弘彦 (杉山)	439 点
9 位	和田 哲郎 (ホラタ、工業)	436 点
10 位	貝川 佳市 (金属団地青年部)	415 点



個人戦優勝
藤澤利光さん

☆団体戦 (1チーム4名×3ゲームの合計)

優勝	ホラタ、工業B	1,737 点
準優勝	金属団地役員	1,675 点
3 位	ホラタ、工業C	1,639 点
4 位	金属団地青年部	1,528 点
5 位	杉山B	1,393 点



団体戦優勝
ホラタ、工業Bのみなさん

三組合合同講演会開催

2月20日(月)午後2時より組合研修センター3階集会室にて、岐阜県中小企業団体中央会の組合等活動支援事業を活用し、川崎岐阜協同組合、岐阜県可児工業団地協同組合、当組合の三組合合同講演会(兼2月度月例会)を開催いたしました。

講師には多くの著書を発表されている経済ジャーナリストの井上久男氏をお招きし『今後の日本経済と中小企業を取り巻く経営環境について』と題してご講演いただきました。

国内外における自動車産業のEV動向、今後の課題について。また中小企業の更なる発展の一つとして、スピードやフットワークを軸にした試作に強いサプライヤーの事例をご紹介いただきました。短期的視点と長期的視点を持ち、いま一度自社の強み弱み、今後の方向性を明確にしていくことの必要性を感じました。





LGBTQ and O

某通信社の世論調査でLGBT理解増進法に64.3%が賛成だそうである。

首相秘書官のオフレコでの「LGBTが隣に住んでいたら嫌だ、見るのも嫌だ」という発言で世論は一気に法案賛成への流れになった。こういう時、日本は欧米に比べて遅れている、考えが古いと騒ぐ方々がたくさん出てくるが、外国ではLGBTが生きていけない国もあるようである。同性愛者であることを理由に暴力を振るわれたり、それこそ殺されたりするような差別・迫害を受ける国が世界にはあるらしい。でも日本には元々そんな差別はない。ずいぶんと前からテレビやメディアでもそのようなタレントが活躍しているし、比較的理解があるのではないかと思え、なぜ日本で今このような法案を通さなければいけないのかと思う。

同じ世論調査にて、同性婚導入賛成は64%らしい。

マスコミのこういった調査ではLGBT理解増進と同性婚を並べて扱うが、差別をなくすことと同性婚を認めることとは本質が違うにも関わらず、セットで論じられていることに違和感を持つ。同性婚導入に関して岸田首相は「家族観や価値観、社会が変わってしまう課題だ」と発言した。報道は「社会が変わってしまう・・・(嫌だ)」と切り取ったから、非難されることになった。

元来世の中は、結婚するのは男と女だということを前提として、法律や各種制度が作られている。家族観や価値観を変えた法律や制度に変えるということは、社会が変わるということであり、全く岸田首相の言葉通り社会が変わる課題である。

同性婚により夫婦となったカップルには当然のことながら子供は生まれえない。でも子供は欲しいから養子を斡旋してもらおうとする。斡旋する側は当然難色を示す。子供の幸せを考えれば躊躇するのも仕方ない。そして差別を受けたと訴えられる。これくらいのトラブルは容易に想像がつくが、もっと今の我々が想像できないようなトラブルがきっと生じるだろうし、既に同性婚を認めている国々では起きているのであろう。我が国では、いろんな弊害が起きないよう、これこそ首相の十八番、十分に検討しなければならない。

このようにLGBT法や同性婚に反対意見を言うと、あの人は古い、差別主義者、時代の変化に付いていけないと言われる昨今である。だから何となくそんな空気を読んで、賛成と言ってないだろうか、反対というのが怖い。これは健全な状態ではない。

私は「異性愛者」という言葉に引っかかる。異性を性の対象とする人のことを呼ぶのだが、同性愛者も異性愛者もどちらも正常だ、という主張のために無理やり使われている言葉のように思えてしまう。

批判を恐れずに私の考えを言うならば、異性を性の対象として愛することが正常であり、同性を性の対象とすることは異常な状態だと考えます。人間という存在も自然の一部であるならば、異性が愛し合うことこそが自然な形である、と言い切って良いと思う。

そして私は、同性を性の対象とすることは異常だと思うけれども、それを罪として咎めたりしないし、差別もしない。という考えです。

「私は体は男性ですが、心は女性で、性の対象は女性ですが、男性も行けます。」という人がもし目の前に現れたら、もう私には理解できません。でも理解できないからといって暴力は振るいませんし、差別もしません。でも「嫌だ」とは言うかもしれませんし、言う権利すら無いということも無いはずです。

因みに私自身は、体は男性ですが、心は女性のように優しく、優しさだけが取り柄で妻には頭が上がりなく、性の対象はもっぱら女性だけなのですが、他の男性からや、増してや他の女性から性の対象とされることなど全くない(妻からだって対象とされていない)、どこにでも転がっていて、ほっておかれてるようなオッサン(O)です。

きっと周りの女性から「隣に住んでいたら嫌だ、見るのも嫌だ」とささやかれていることであろう。

願わくはもう少しオッサンへの理解も増進して頂きたい。



第38回金属団地ボウリング大会

2023年1月29日(日)に3年ぶりとなるボウリング大会が開催されました。

青年部チームからは、山内選手、大野選手、秋田選手、貝川選手という最強(?)の布陣で挑みました。

全選手、久しぶりのボウリングとあって一抹の不安を抱えつつも徐々に調子が上がっていきストライク、スベアを出すたびに拍手と歓声が上がりました。

山内選手は、2, 3ゲームを180前後のスコアを叩き出し団体戦に大きく貢献していました。

気になる結果ですが・・・【団体戦第4位】の栄冠に輝きました!

前回大会に引き続き4位と金属団地ボウリング大会に少なながらも爪痕を残すことができました。

個人戦では、山内選手の第5位を筆頭に第10位、第20位、第27位という好成績でした。

次回大会もこの調子で青年部の存在感を出していけたらと思います。

さて、今大会でレギュラー陣(?)の山内選手と貝川選手が引退となってしまいますが、青年部にも新しいメンバーが加入しつつあります。青年部らしく、「これが若さか・・・」と涙溢れてくるような隠れた実力者が居るに違いありません。更に上の成績も夢ではないでしょう。



「青中ふれあい交流事業」及び「新春懇親会」に参加

2月16日(木)、岐阜市の長良川温泉ホテルパークにて、岐阜県青年中央会の交流事業として講演会が行われました。金属団地青年部は、翌日から親睦旅行が予定されていたこともあって現地参加は1名でしたが、Zoom配信で6名が視聴しました。

今年度は「ものづくり企業 再生の極意」と題して、大ヒット商品「エアーかおる」で有名な安八郡の浅野撚糸株式会社、浅野雅巳社長にご講演いただきました。

「エアーかおる」。使われている方も多いたと思いますが、特許技術による糸で編んだタオルで、吸水性や肌触りに定評があり各メディアやSNSにより爆発的にヒットしています。しかしそれまでには、中国製品の登場による売上げの激減と社員2/3のリストラ、開発に向けた途方もない試行錯誤、展示会出展の苦勞など、さまざまな困難があったようです。

奥様と二人で小さな夢を語り合いながら、ひたすらその夢を追いかけて完成させた商品がついに大成功。「再生の極意とは夢を追いかけること」浅野社長の波乱万丈なお話は、経営というより単純に物語として非常に面白い内容でした。

現在、国をも巻き込んだ巨大プロジェクトとして、帰還困難区域だった福島県双葉町に工場を建て、町を再生するという新たな夢に挑戦している浅野社長。世界からも注目されているこのプロジェクトの成功を岐阜のものづくり企業として応援したいと思います。

講演会の後は3年ぶりに懇親会(新年会)も開かれ、やっと日常が戻ってきた感じがします。オリンピックを無観客で開催すると決まった時に私が予言したように、世界からは丸1年遅れていますけどね。これ以上取り残されないよう、早く全てを元に戻す方向に加速してもらいたいものです。





初・海外旅行の思い出

三島精器(株) 三島 基成

休日というと最近では土曜日・日曜日と連想してしまうので、ほとんど毎日が休日であった学生時代の昔話をすることにする。

若い頃は暇があれば『〇〇をしたい』とか、お金があれば『〇〇を買いたい』とか今より単純に欲望いっぱいでした。で、休日といえば旅行。エピソード満載の楽しかった初の海外旅行の話をしていきたいと思います。

振り返れば今から45年前、大学4年の時初めて海外に出向いた。学生仲間8人ほどでカナダのバンクーバーを経由し、バンフ・ウィスラーなどのスキー場で楽しんだ。カナダになぜスキーに行くことになったのか？誰かがテレビを見ていて、カナダにスキーに行こうと突拍子もないことを言ったのがきっかけでした。まさか本当に行くとは、誰もが思っていなかったのにいわゆる勢いで行くことになる。(大橋巨泉が11PMという番組の中で、ミススキーといってかわいくてスキーがうまい女の子数人の海外ツアーを番組でやっていた。旅行中も撮影でその子たちがいたが、そのテレビ番組を見てカナダ行きが決定した。まさに休日に海外へ行くことが学生にも浸透し始めた時代だったし、海外旅行は特別なことでもなくなって、『贅沢は敵だ。』でなく『贅沢は、素敵だ。』と言われたバブリーな時代だったように記憶している。)

話はそれだが憧れのカナダに14日間スキー旅行へ行くことになった。私のスキー歴はまだ2年目だったので、カナダに行くなんてレベルではなかった。そこで、同級生に行く前の1ヶ月以上日本中のスキー場でレッスンを受け、お金が続く限りスキー旅をして練習を重ねた。青木湖・鹿島槍・八方尾根・熊の湯・志賀高原・赤倉どこでも行った。電話帳を見て宿を探しながら。

そして、軽井沢の人工スキー場で滑り、鬼押し出しの神社で正月を迎え、おみくじを引くと、『いつまでもあると思うな親と金』と書いてあり、そこで家に帰ったのが懐かしい。金がなくなり家に帰ったわけだが、多少は滑れるようになりカナダに行く態勢は整った。

日本とは全く規模が違うコース。高速リフトで登り、頂上から10キロくらいのコースを降りてくるわけで、もう体力のみのスキーでした。リフトは3人乗りが普通でスピードが速く乗るのも必死でした。そこで乗り損ねはぐれると、もうゲレンデで仲間には会えません。やたら寒いマイナス20度で、風が吹きリフトが止まると、寒いというより冷たい。しかし、手で握れないようなサラサラなパウダースノーは、日本とは大きく違いスキーもうまくなったと勘違いするくらい。そして、リフト券とランチ代があれば1日過ごせて、夜は毎晩フルコース付きのホテルで本当に今思うとお値打ちに過ごせた旅行でした。上級・中級コースが10本以上あるコースがそこら中にありました。(サンシャインビレッジとかレイクルイーズだったかな、記憶にあります。)

ただ、スキーで疲れ切り2時間近くのゆっくりのフルコースのディナーは学生のわたしたちにはスローすぎて、眠いし、過酷すぎた。

また、初めてモーグルという競技を見て人間業には思えなかったし、(こぶの1つ1つの高さが人間の背丈より高いコブを滑るというより落ちてゆく感じ)あと、大滑降も見たが新幹線のような音を立てて、横を通りすぎるのを確かホップホップと応援して、大興奮だ。

一番の目的であったヘリコプタースキー(ヘリコプターで山の頂上まで送られ、誰も滑ってない白銀の世界をクレバスをよけながら滑る)は、エントリーしていましたが天候が悪く一度もできませんでした。(正直2年目のスキーヤーのわたしは命拾いしました。)

勢いだけでは、どうにもならないこともありますから……

スキー旅行先でもハプニングがあった。仲間の2人が就職が決まらず悩んでいたが、当時は2,000人ほどの日本人がカナダに訪れ年々倍増で、滞在したホテルがスタッフを募集していて就職が決定というエピソードも。(10年くらいで帰ってきたと聞いたが、…)

懐かしい思い出を書き出したらけっこう文字数出来ました。

昔の思い出の海外旅行第一弾をこれにて終了します。(内容がなくすみません。)

2022年度新規高卒採用戦線に異常あり! その1

～県内外の多くの企業で新規高卒内定数が採用予定数に達せず～

先月号では、従業員数49人以下の企業が新規高卒採用力“戦闘力”を50点以上にするにはどのような対策をとればよいのか?ということについて述べさせて頂きました。次号は、『令和4年度新規高卒採用活動の成功事例』を紹介させて頂くと予告しましたが、今年度の新規高卒採用戦線について、市近隣の工業系高校からの情報では『新規高卒の応募者数が採用予定数に達していない企業が非常に多い。特に、愛知県の大企業で今までにない厳しい状況だ。』とのことでした。実際に、市内企業の何社からは、「新規高卒の内定が計画通りにできていないので・・・」という相談が寄せられています。

9月16日(新規高卒入社試験開始日)に市近隣の工業系高校を訪問した時に、各校の進路支援主事から、「もうすでに、愛知県の企業から二次募集の案内が届いている。」とお聞きし、30社を超える二次募集申し込み企業のリストを拝見しました。この企業リストの中には、トヨタグループの大企業や有名な工作機械メーカーの名前が何社もありました。2022年度の新規高卒採用戦線は、まさに異常状態でした。今月は予定を変更して、この異常事態が生じている要因を分析してみたいと思います。

2022年度の新規高卒採用戦線において、県内外の多くの企業で内定者数が採用予定数に達していない要因として、以下の7つの事項について考えてみました。

- 1 少子化の進行(中学校卒業予定者数の減少)
- 2 専門高校の定員減(⇒中学校卒業予定者数の減少が起因)
- 3 工業系高校の“進学率”の上昇
- 4 工業系高校の“県外就職率”の上昇
- 5 優秀な県内工業系高校生の“愛知県への就職流出”の増加
- 6 工業系高校“求人倍率の異常な上昇”
- 7 愛知県の企業への“九州地区工業系高校”からの就職者数の減少

これらの要因について、データを紹介しながら私見を述べさせて頂きます。

1 少子化の進行(中学校卒業予定者数の減少)について

図1は、今後の岐阜県の中学校卒業予定者数の年度推移グラフです。

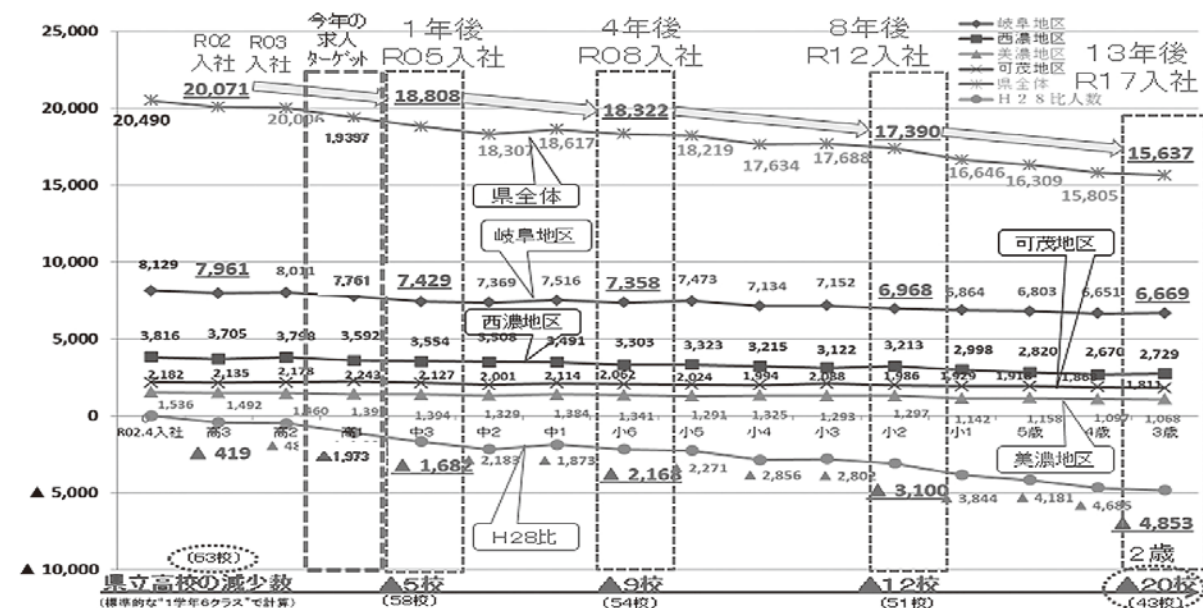


図1 岐阜県の中学校卒業予定者数の年度推移

今年度の求人ターゲットである県内の高校3年生は19,397人で、2年前の20,071人から674人減少しています。このうち、就職者数の減少は300人前後と推測され、この減少数が企業での内定不足に繋がったのではと考えています。今後も、中学校卒業者数の減少は継続しており、来年度は18,808人で589人の減、2024年度は18,307人で1,090人の減少となります。13年後の令和17年度入社では3,760人の減少となり、地域から新規高卒の就職者が激減する状況となっています。この先も企業活動を継続するために、貴社では今からどのような対策を立てられますか？ ちなみに、この減少数は、標準的な高校(40人学級が1学年で6クラスの学校)が約16校消滅する数です。近い将来、地域から高校生がいなくなり、高校がなくなっていきます。岐阜県の高校設置基準は『最低市郡に1校』であったと思いますので、この基準に照らし合わせると各務原市の高校存続には危機感を覚えます。地域から教育の場(高校)がなくなることは、地域に若者(高校生)が集まらなく(残らなく)なり、地域(企業)の活力は衰退していくと思います。飛騨地区の高校赴任時にこの現象を目の当たりにしてきました。

今年度の新規高卒採用の厳しさが、今後も益々増幅されていきます。将来を見据えた地元企業への若者の確保・育成、そして、就職をした企業への定着(3年以内離職率の低減)が喫緊の課題です。

2 専門高校の定員減(⇒中学校卒業者数の減少が起因)について

表1は、各務原市近隣の工業系高校の令和5年度の設置学科と入学定員です。

<p>■岐阜工高(8学科・320名)</p> <p>#航空機械工学科:70名 電子機械工学科:40名 ※電気工学科:35名 ※電子工学科:35名 ※建設工学科:35名 ※デザイン工学科:35名 ※化学技術工学科:35名 ※設備システム工学科:35名 計40名減</p>	<p>■岐南工高(6学科・280名)</p> <p>・機械工学科:80名 ・自動車工学科:40名 ・電気工学科:40名 ・電子工学科:40名 ・建築工学科:40名 ・土木工学科:40名</p>
<p>■可児工高(4学科・165名)</p> <p>#機械工学科:60名 ※電気工学科:35名 #建設工学科:35名 ※化学技術工学科:35名 計35名減</p> <p><small>※:令和元年度入学生より定員減 #:令和5年度入学生より定員減</small></p>	<p>■関商工高(4学科・280名)</p> <p>・機械科:80名 ・電子機械科:40名 ・建設工学科:40名 ・総合ビジネス科:120名</p>
	<p>■大垣工高(8学科・280名)</p> <p>#機械系:105名 #電気系:105名 #化学系:30名 建設系:40名 計40名減</p>

表1 各務原市近隣の工業系高校の令和5年度設置学科と入学定員

※は、令和元年度の入学検査時での定員です。岐阜工高は設置学科8学科のうち6学科で各5人、合計30人の定員減でした。可児工高では設置学科4学科のうち2学科で各5人の減、合計10人の減でした。この定員が減少した学年が今年度の求人ターゲットの3年生でした。工業系高校の就職率が約70%、県内就職率が約70%ですので、定員減数にこれらの数値を掛け合わせると、県内就職者がこの2校で約19人強減少したこととなります。

#は、令和5年度に定員減がある学科です。岐阜工高、可児工高、大垣工高で合計75人の減です。令和元年度の減少と合わせると115人の減で、県内就職者が56人強減少することとなります。今のところ岐南工高と関商工高では定員減はありませんが、令和6年度以降の中学校卒業者数の減少に対応するために、この2校の定員減が確実に予想されます。企業経営者の皆様及び採用担当者の皆様には、「専門高校(工業系高校)の定員減は、自社への就職者数の減少に直結する」ことを認識して頂き、県教育委員会が毎年10月末に発表する「高校の入学定員」に関心を持ち、専門高校の定員減抑制の働きかけを関係機関にして頂きたいと思っています。

次に、なぜ岐阜工高の航空機械工学科の入学定員が令和5年度入試で10名減少になったのか?この要因を推測してみます。

図2は、令和4年度岐阜県公立工業系8高校の入学検査における機械系学科の定員・出願者数及び合格者数の状況です。

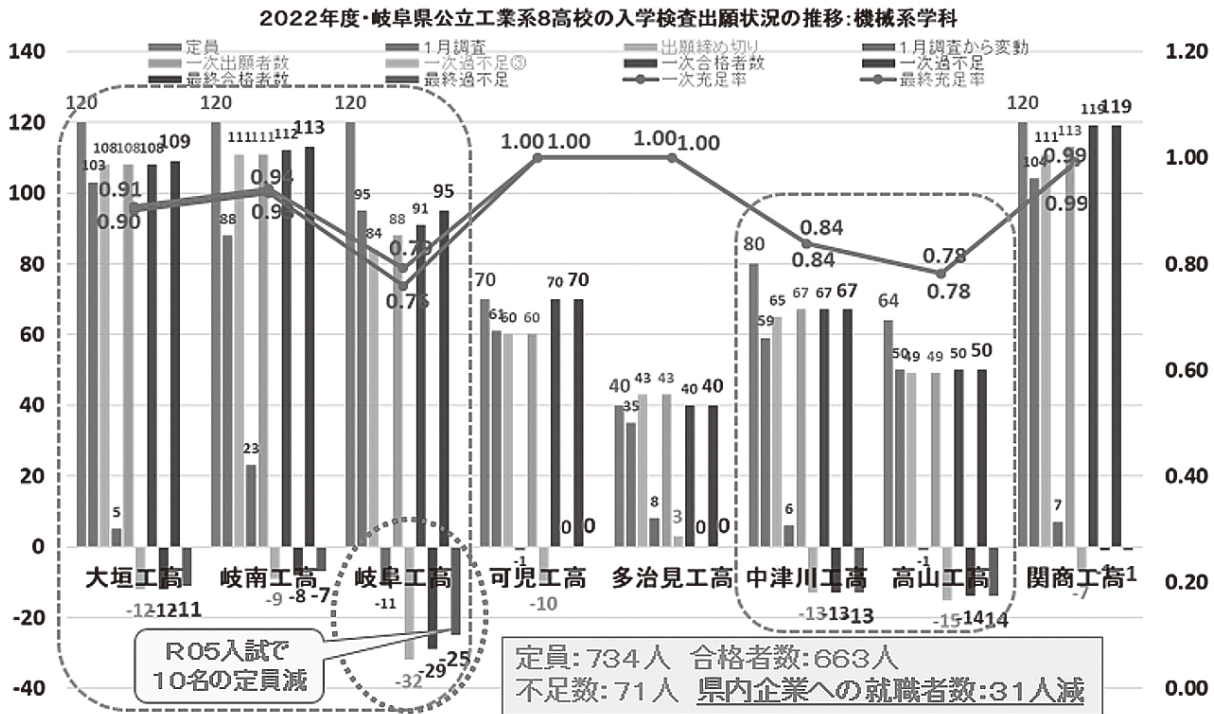


図2 令和4年度岐阜県公立工業系8高校入学検査における機械系学科の定員・出願者数及び合格者数状況

公立工業系8高校の機械系学科のうち可児工高、多治見工高除いた6校が定員割れをしており、定員合計734人に対して合格者数合計は663人で、71人の不足となっています。これは県内企業への就職者数が31人減少することになります。

最も定員割れが大きかったのが岐阜工高の航空機械工学科・電子機械工学科群で募集定員120人に対して合格者数が95人、25人の定員割れとなっています。この原因として、コロナ禍による航空宇宙産業の低迷、航空宇宙関連企業の求人減及び求人票の提出控え、社員の出向・退職等、芳しくない評判が受験生及び保護者に伝わり、結果として受験回避に繋がったと推測しています。この25名の定員割れが令和5年度入試の定員10名減に直結したと考えています。

今後も定員割れを起こした専門高校の学科が定員減のターゲットとされることが予測されます。また、就職者が多い普通科高校でも大幅な定員割れを生じており、これらの普通科高校の定員も減少されています。例えば、山県高校は定員105人に対して合格者数69人で36人の不足、羽島高校は定員160人に対して合格者数は143人で17人の不足でした。西濃地区や東濃・飛騨地区でも就職者が多い普通科高校の定員割れが顕著です。今年度の高校入学者は2024年度の求人ターゲット学年(3年生)です。このような今年度の入試状況から、2024年度の新規高卒採用戦線は今年度以上に厳しい状況となることは明らかです。今から2024年に向けての新規高卒採用対策を講じられることをお勧めします。

3 工業系高校の“進学率”の上昇 について

図3は、岐阜県工業系11高校の平成22年度から令和3年度まで12年間の進路状況の年度推移です。今年分については年度末の集計となるためデータの反映ができていません。

工業系11高校の進学率は、平成22年度の31.1%から下降し平成28年度には23.5%と最低値となりました。平成29年度から上昇傾向に移り、令和3年度には32.0%と過去最高値となりました。今年度は9月末時点の情報収集においては、各高校とも進学率が過去最高とのことで、前年度と比較して10%前後の上昇であるとのことでした。おそらく過去最高値の更新は間違いなく40%前後になっているのではと推測しています。進学率の上昇は、裏を返せば就職率の低下という事であり、進学率の10%増は、岐阜県の工業系高校全体で就

職者数の180人の減少、県内就職者数の130名の減少という計算になります。このことが、県内企業の新規高卒採用難に直結したと思います。

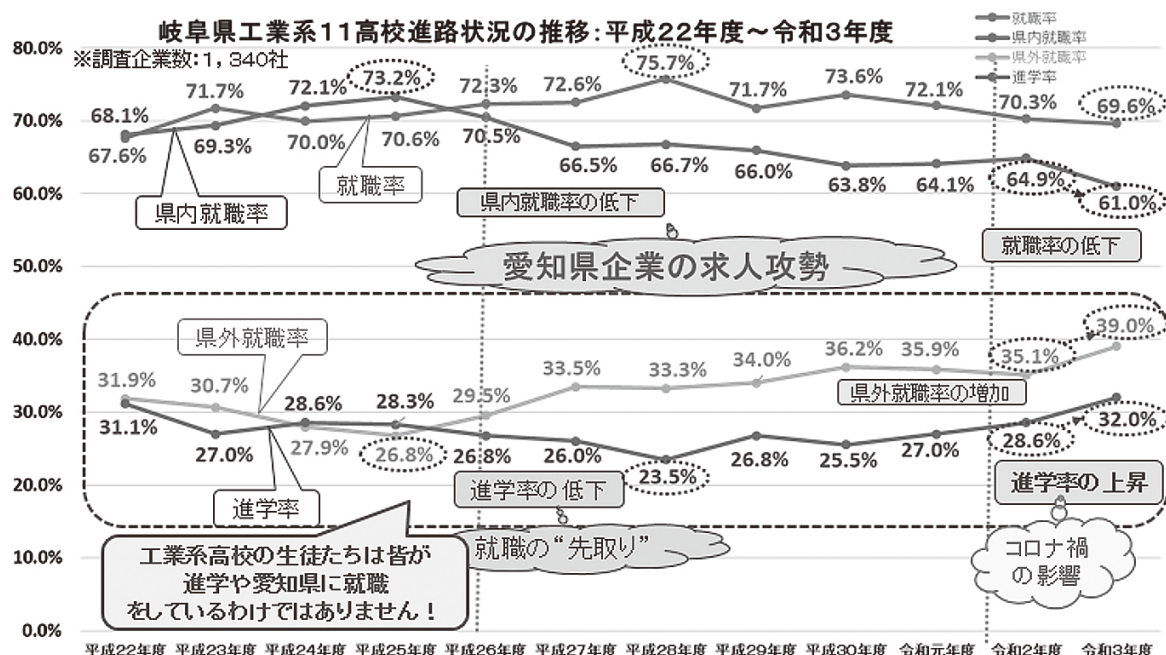


図3 岐阜県工業系11高校の進路状況の年度推移：平成22年度～令和3年度

進学率上昇の要因は、まさにコロナ禍にあると考えています。コロナ禍によりインターンシップや企業見学が十分にできていないこと、オンラインによる授業が主で「実習」ができていないこと、また、コロナ禍を理由に技能検定などの「国家資格」の受験機会が喪失し、専門資格の取得ができていないこと等、高校3年生がコロナ禍により喪失した学習機会は計り知れません。これらのことが、就職をすることへの不安増幅となり、結果として進学者の増加になっているのではと思います。逆を考えれば、この進学者が卒業する2年後・4年後は新規学卒を獲得するチャンス拡大になるかと思しますので、各企業の採用担当者の皆様のご健闘を期待するものです。

4 工業系高校の“県外就職率”の上昇について

県外就職率は平成25年度の26.8%を最低値に上昇傾向となり、コロナ禍の影響で令和2年度には35.1%（前年度比+0.3%）と若干低下しましたが、令和3年度は39.0%と過去最高値になりました。この最大の要因は、愛知県の自動車産業のコロナ禍からの回復が早く、異常な求人増になったことです。顕著なのが、愛知県自動車産業関連企業からの求人数の増加です。1高校に対して複数名求人があり各高校から1社につき数名の応募・内定があったようにお聞きしています。このような状況下でも、愛知県自動車産業関連企業の多くが採用予定数に満たない状況であるようです。なぜ愛知県の自動車産業関連企業で内定不足が生じているのかについては、次号で詳しく解説させていただきます。

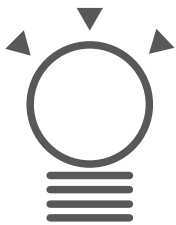
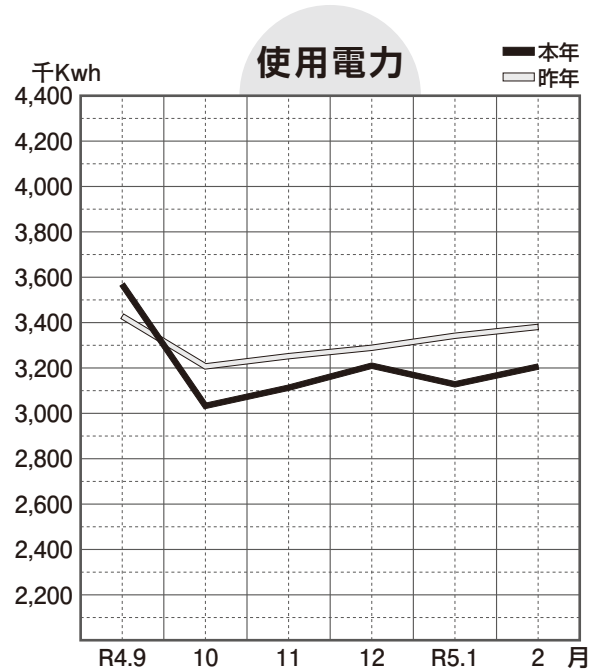
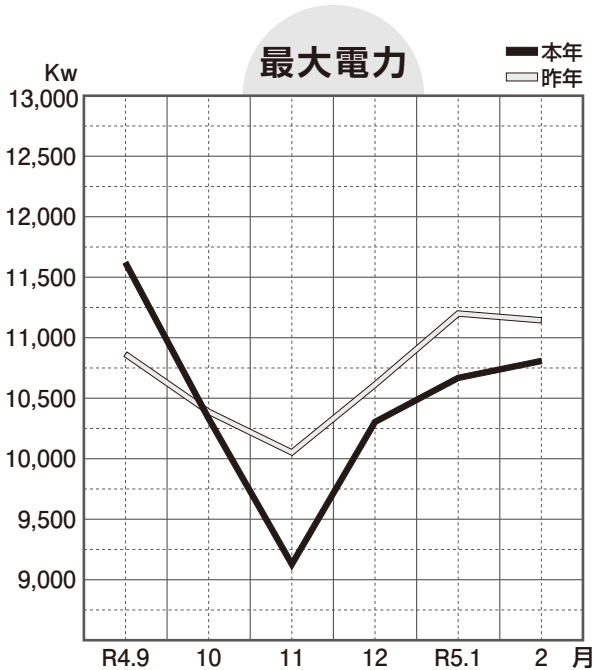
例年、愛知県の中小企業においては慢性的な内定不足状態となっているようで、これらの企業群（特に木曾川南岸沿い市町所在の企業）からの県内工業系高校への求人攻勢の激化は明白です。工業系の高校生が受験先企業を決めるにあたって重視する事項の上位に「所在地」があります。岐阜工高や岐南工高に通う生徒の自宅から“通勤が1時間以内”で円を描くと、これら木曾川南岸市町所在の企業は円内に含まれ、各務原市内企業にとっては、新規高卒採用活動の強力なライバル企業になります。これらの愛知県の企業に各務原市内の企業が新規高卒採用活動戦線で打ち勝って、就職による県外流出防止の“防波堤”になることを期待しています。

今回は、今月号の続編として多くの企業が内定不足になった要因の5～7について解説させていただきます。

（文責：各務原市産業活力部商工振興課人材確保相談員 長屋千秋）



令和5年2月分電力使用状況



電気は正しく使いましょう!!

電気料金の地域格差

電気代高騰の影響は既に重々承知の上かと思いますが、多くの電力会社で値上げがプレスリリースされています。値上げが実施されると各地域電力でかなりの電気料金の差が生まれることとなります。値上げ前の家庭用のモデルケースと比較しても九州電力や関西電力と比べると東京電力や中部電力では約17%程度すでに高く、値上げをすると約3割から4割の差がつくこととなります。(中部電力は家庭用の電気については値上げを発表していません)東京電力は原発の再稼働を前提とした値上げのためさらに電気代が高騰することになるかもしれません。

関西電力と九州電力が安いのは原発の稼働率が高いことが電気料金に大きく影響しています。国は電気・ガス価格激変緩和対策として値引きを行います nationwide のため格差が縮まることがないため原発再稼働を政府が認める気がないのなら格差を埋めることも考えないと安い地域への移転もはじまってしまうかも。

ちなみに原子力規制委員会は原発を再稼働させないための組織です。政府が本気で再稼働を短期間で実行するには原子力規制委員会を飛び越えて決断するかにかかっています。電気料金の低減、脱炭素、電力不足の解消さらにエネルギー価格高騰による物価上昇にも歯止めをかけることにつながるかもしれません。ぜひ増税の前に日本経済の安定と活性化について得意の検討をしてほしい。

行事予定

2023 **3** March

16 木	
17 金	
18 土	『組合休日』
19 日	
20 月	月例会(12:00~) 役員会(13:40~)
21 火	『春分の日』
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	団地G 『組合休日』
26 日	
27 月	
28 火	編集委員会(12:00~)
29 水	正副会議(12:00~)
30 木	
31 金	

2023 **4** April

1 土	『組合休日』
2 日	
3 月	
4 火	
5 水	新入社員激励会
6 木	
7 金	
8 土	『組合休日』
9 日	
10 月	
11 火	
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	『組合休日』

■ 4月・5月の行事予定

4月17日(月) 月例会 5月25日(木) 定時総会・総会懇親会
4月22日(土) 団地G 5月27日(土) 総会記念ゴルフ

■ 2月度金属団地ゴルフ会

2月25日(土) 岐阜カンツリー倶楽部
優勝 今井哲夫(今井航空機器工業) 2位 鳥山 仁(共和鑄造所) 3位 森田吉久(テクノ共栄)

■ 共同駐車場空き状況 (2023年3月1日現在)

駐車場	資材置場北	喫茶店北	倉庫南	福祉会館東	C棟南
空き数	0	0	0	1	1
駐車場	研修センター東	研修センター南	研修センター西	溶接組合	三井川東
空き数	0	0	0	0	0

※C棟南はC棟入居者用

G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

